

平成 27 年度 橋梁点検結果

番号	橋梁名	橋梁形式	点検結果の損傷評価コメント	橋毎の診断 判定区分
1	大橋	3 径間連続 RCT 桁橋	主桁端部の斜めひびわれ及び橋台底版前面の土砂崩壊が視認された。主桁端部ひびわれの補強及び、橋台（A1、A2）底版の前面地盤の復旧及び橋台の安定対策が必要である。必要に応じ車両防護柵に取替えも必要になる。	IV 緊急措置段階
2	沼縁橋	PC プレテン ホロー桁橋	床版（間詰）に、舗装面からの雨水の侵入によると思われる漏水及び一部遊離石灰跡が視認された。今後の経過観察により状況に応じ補修等の対策が望まれる。	II 予防保全段階
3	ソウワ 03038 橋	PC プレテン T 桁橋	橋台翼壁の施工打継目のひびわれ・遊離石灰及び防護柵端部の変形・地覆の部分的な鉄筋露出（施工不良）が視認された。 今後の経過観察により状況に応じ補修等の対策が望まれる。	II 予防保全段階
4	ソウワ 03039 橋	PC プレテン T 桁橋	橋梁本体は概ね健全である。 橋面の地覆部の部分的な鉄筋露出（施工不良による）は維持管理において修復・修繕を行うことが望ましい。	I 健全
5	道北橋	PC プレテン ホロー桁橋	橋梁本体は概ね健全である。 橋面路肩部の土砂堆積は、維持管理において除去を行い路面排水の機能を回復することが望ましい。	I 健全
6	サンワ 33025 橋	PC プレテン T 桁橋	橋梁本体は概ね健全である。 橋面の地覆部の部分的な鉄筋露出（施工不良による）は維持管理において修復・修繕を行うことが望ましい。	I 健全
7	コガ 1006 橋	2 径間単純 PC プレテン I 桁橋	床版（間詰）に、舗装面からの雨水の侵入によると思われる漏水及び一部遊離石灰跡が視認された。今後の経過観察により状況に応じ補修等の対策が望まれる。橋面路肩部の土砂堆積は、維持管理において除去を行い路面排水の機能を回復することが望ましい。	II 予防保全段階
8	コガ 1011 橋	2 径間単純 PC プレテン I 桁橋	床版（間詰）に、舗装面からの雨水の侵入によると思われる漏水及び一部遊離石灰跡が視認された。今後の経過観察により状況に応じ補修等の対策が望まれる。橋面路肩部の土砂堆積は、維持管理において除去を行い路面排水の機能を回復することが望ましい。	II 予防保全段階
9	コガ 1047 橋	2 径間単純 PC プレテン I 桁橋	橋梁本体は概ね健全である。 防護柵の一部変形及笠木の腐食（さび）は、第三者に影響があるため、維持管理において部分再塗装又は、部分取り替えが望ましい。	I 健全
10	和田橋	2 径間単純 RCT 桁橋	桁全体に老朽化が見られ、部分的に剥離・鉄筋露出が視認された。今後の経過観察により状況に応じ補修等の対策が望まれる。路面は舗装剥離等で凸凹状態であるので、維持管理において修復・修繕を行うことが望ましい。	II 予防保全段階

番号	橋梁名	橋梁形式	点検結果の損傷評価コメント	橋毎の診断 判定区分
11	コガ 3 橋	RC 床版橋	<p>豎壁の一部にひびわれ及び錆汁が伴う漏水が視認された。</p> <p>今後の経過観察により状況に応じ補修等の対策が望まれる。</p>	II 予防保全段階
12	コガ 4 橋	RC 溝橋	<p>本体（プレキャスト BOX）は健全である。</p> <p>路面の舗装ひびわれは、雨水の浸透によりプレキャストブロック継目への漏水の原因となるため、維持管理において修復することが望ましい。</p>	I 健全
13	コガ 11 橋	PC プレテン I 桁橋	<p>橋梁本体は概ね健全である。</p> <p>路面の防護柵の一部変形及び支柱基部の地覆ひびわれ・剥離は維持管理において修復・修繕を行うことが望ましい。</p>	I 健全
14	コガ 16 橋	RC 床版橋	<p>桁下に施工不良（かぶり不足）による鉄筋露出が視認された。</p> <p>今後の経過観察により状況に応じ補修等の対策が望まれる。</p>	II 予防保全段階
15	コガ 1005 橋	PC プレテン I 桁橋	<p>橋梁本体及び橋面を含め概ね健全である。</p> <p>次回の点検時に状況を再確認する。</p>	I 健全
16	コガ 1016 橋	PC プレテン I 桁橋	<p>橋梁本体は概ね健全である。</p> <p>路面の防護柵笠木の腐食（さび）は、第三者に影響があるため、維持管理において部分再塗装又は、部分取り替えが望ましい。</p>	I 健全
17	コガ 1017 橋	RC 床版橋	<p>橋梁本体は概ね健全である。</p> <p>路面の防護柵及び背面段差は、交通量は殆ど無いものの、安全のため防護柵設置及び背面段差の修復が望まれる。</p>	I 健全
18	コガ 1024 橋	RC 床版橋	<p>橋梁本体は概ね健全である。</p> <p>路面の防護柵笠木の端部欠損は、第三者に影響があるため、維持管理において部分取り替え等の対策が望ましい。</p>	I 健全
19	コガ 1034 橋	RC 溝橋	<p>橋梁本体は概ね健全である。</p> <p>路面の防護柵の変形及び背面段差は、交通量は殆ど無いものの、安全のため防護柵及び背面段差の修復が望まれる。</p>	I 健全
20	コガ 1041 橋	鋼 H 桁橋 （覆工板）	<p>現橋は古い橋の上に応急復旧として組み立てられた組立橋（プレートガーダーと覆工板）であり、桁全体に腐食（さび）が進行している。</p> <p>今後の経過観察により、状況に応じ再塗装等の対策を行うことが望ましい。</p>	II 予防保全段階

番号	橋梁名	橋梁形式	点検結果の損傷評価コメント	橋毎の診断 判定区分
21	コガ 1042 橋	RC プレキャスト桁橋	供用されていない橋である。 桁は施工不良も伴い、老朽化している。 今後の補修・補強対策の可否及び撤去等の検討など、別途対策協議が必要と思われる。	II 予防保全段階
22	コガ 1044 橋	RC プレキャスト桁橋	橋梁本体は概ね健全である。 路面の背面段差は、維持管理にて修復が望まれる。	I 健全
23	コガ 1052 橋	PC プレテン I 桁橋	橋梁本体、橋面を含め概ね健全である。 次回の点検時に状況を再確認する。	I 健全
24	コガ 1053 橋	RC 床版橋	橋梁本体は概ね健全である。 路面の背面段差は、維持管理にて修復が望まれる。	I 健全
25	ソウワ 00001 橋	鋼 H 型橋	桁全体の腐食の進行及び橋台（パイルベント杭）前面の洗掘・杭の部分破断が視認された。橋台の安定確保のため、杭の補強及び橋台前面の護岸工の敷設対策が必要である。	IV 緊急処置段階
26	ソウワ 00007 橋	RC 床版橋	橋梁本体及び橋面を含め概ね健全である。 次回の点検時に状況を再確認する。 また、交通量は少ないものの、安全のため防護柵設置が望まれる。	I 健全
27	ソウワ 00008 橋	RC 床版橋	橋梁本体及び橋面を含め概ね健全である。 次回の点検時に状況を再確認する。	I 健全
28	ソウワ 00009 橋	RC 床版橋	橋梁本体及び橋面を含め概ね健全である。 次回の点検時に状況を再確認する。	I 健全
29	ソウワ 00012 橋	RC 床版橋	桁下に施工不良（かぶり不足）による鉄筋露出が視認された。今後の経過観察により状況に応じ補修等の対策が望まれる。 また、交通量は少ないものの、安全のため防護柵の設置が望まれる。	II 予防保全段階
30	ソウワ 01003 橋	鋼 H 型橋	桁全体の腐食進行・床版の貫通ひびわれ及び橋台（パイルベント杭）前面の洗掘・傾斜が視認された。 橋台の安定確保のため、橋台前面の護岸工の敷設（A1 橋台）対策及び床版貫通ひびわれの補修対策が必要である。	IV 緊急処置段階

番号	橋梁名	橋梁形式	点検結果の損傷評価コメント	橋毎の診断 判定区分
31	ソウワ 01006 橋	鋼 H 型橋	桁全体の腐食進行・床版の貫通ひびわれ及び橋台（パイルベント杭）前面の洗掘・杭ひびわれが視認された。 橋台の背面には鋼矢板による土留め工が施されているが、安定確保のため、杭の補強及び橋台前面の護岸工の敷設対策及び床版貫通ひびわれの補修対策が必要である。	IV 緊急処置段階
32	ソウワ 01007 橋	鋼 H 型橋	桁全体の腐食進行及び橋台（パイルベント杭）前面の洗掘・杭の部分破断が視認された。 橋台の安定確保のため、杭の補強及び橋台前面の護岸工の敷設対策が必要である。 また、現橋の交通量は少ないが、橋台伸縮部及び橋台背面の段差改善が必要である。	IV 緊急処置段階
33	ソウワ 01008 橋	鋼 H 型橋	桁全体の腐食進行及び橋台（パイルベント杭）前面の洗掘が視認された。さらに、背面路盤に部分陥没が生じている。 橋台の安定確保のため、橋台前面の護岸工の敷設対策及び橋台背面の舗装工を含め地盤（土砂）の改善対策が必要である。	IV 緊急処置段階
34	ソウワ 01009 橋	鋼 H 型橋	桁全体の腐食及び床版のひびわれが視認された。 今後の経過観察により、状況に応じ部分補修及び再塗装等の対策を行うことが望ましい。	II 予防保全段階
35	ソウワ 01010 橋	鋼 H 型橋	桁全体の腐食及び床版の部分的な鉄筋露出（施工不良）が視認された。 今後の経過観察により、状況に応じ部分補修及び再塗装等の対策を行うことが望ましい。	II 予防保全段階
36	ソウワ 01012 橋	2 径間連続 RCT 桁橋	桁全体に老朽化が見られ主桁の中央部付近の損傷（鉄筋露出・腐食）が視認された。 現橋は幅員が狭い（有効 2.6m）が、交通量がかなり多い。 上部構造の主桁フランジ部はひびわれ・剥離し、主鉄筋が露出し腐食が激しく耐力不足が懸念されるため、桁全体の補強対策又は、架け替えが必要である。	IV 緊急処置段階
37	ソウワ 01016 橋	PC プレテン I 桁橋	床版の部分的な鉄筋露出（施工不良）が視認された。 今後の経過観察により、状況に応じ部分補修の対策を行うことが望ましい。	II 予防保全段階